

平成 29 年度文化財保護事業報告

1. 委員会

「清須市文化財保護条例」(平成 17 年 7 月 7 日条例第 85 号)、「清須市文化財保護規則」(平成 17 年 7 月 7 日教育委員会規則第 31 号)に基づいて設置。

- ・文化財保護審議会：年 1 回開催 (平成 30 年 3 月 22 日)

2. 文化財保護関連予算

生涯学習課文化財保護関連予算 (29 年度当初予算)

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度予算額	平成 28 年度予算額
教育費総予算	2,620,120	2,425,420
社会教育費	595,071	493,127
文化財保護費	28,068	26,690
文化財保護審議会委員報酬	60	60
文化財保護事務費	196	213
文化財保護事業費	9,593	7,712
指定文化財補助金	11,190	11,290
西枇杷島問屋記念館費	5,614	6,003
歴史資料展示室費	1,415	1,412

3. 文化財保護

時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

- (1) 文化財の指定：清須市内の指定文化財は国・県・市指定を含めて 33 件。

【清須市内指定文化財等一覧】(資料 3)

※国指定 1、県指定 3、市指定 28、国登録 1 (計 33 件)

- (2) 埋蔵文化財の保護

清須市内には、弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡、清洲城下町遺跡等が存在し清洲地区を中心に埋蔵文化財包蔵地が広く分布している。埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘にかかる届出の受理、発掘調査等の実施等に対応している。

【清須市内の遺跡一覧】(資料 3)

【平成 29 年度】(平成 30 年 3 月 15 日現在)

93 条届出	94 条通知	有無照会	確認調査	発掘調査
163 件	12 件	3 件	3 件	1 件

※93 条届出：民間開発に伴う届出、94 条通知：公共事業に伴う通知

① 発掘調査

清洲地内（新清洲駅北側）：清洲城下町遺跡
（新清洲駅北区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査）
旧五条川跡近辺をトレンチ調査

② 清洲城下町遺跡柿経保存処理

25年度より実施。本年度は約100片を処理。25～29年度の5年間で562点の保存処理を完了した。また報告書を300部作成。29年度で保存処理事業は終了。

・無量寿経巻下460点、観無量寿経59点、六字名号43点 計562点

4. 啓発活動

生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産（埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等）の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

(1) 歴史資料展示室における資料の公開

清須市立図書館内歴史資料展示室において、市の歴史を概観できる常設コーナーと、より深いテーマ性をもつ展示を行う企画コーナーを設け、市民に親しみの持てるわかりやすい展示をめざす。

① 企画展「絵図・地図の世界～ひとの足跡を知る～」

- ・会 期 平成29年4月15日（土）～7月17日（月・祝）
- ・展示内容 江戸時代の国絵図・村絵図、明治時代以降の地籍図・行政図・土地宝典等から、過去の地名や土地利用の変化など古来この地で営み築いてきた暮らしの足跡をたどる展示をおこなった。
- ・入室者数 4,725名

② 企画展「戦争と暮らし～庶民の戦争～」

- ・会 期 平成29年8月5日（土）～12月17日（日）
- ・展示内容 満州事変から太平洋戦争終結にかけての庶民の暮らし・世相を表す生活用具や教科書、金属代用品等の戦争関連の民具資料を中心に展示を行い、平和の大切さを伝えた。
- ・入室者数 7,528名

③ 企画展「装い～ハレのスタイル～」

- ・会 期 平成30年1月13日（土）～平成30年3月25日（日）
- ・展示内容 「ハレ」の装いに焦点をあてて「装い」と社会生活に関わりや時代背景を表す装身具等の民具資料とともに尾張藩の御用商人であった箕浦家の親族が皇族より下賜された資料も併せて展示した。
- ・入室者数 3,139名（平成30年2月末現在）

(2) 文化財講座・講演会

① 文化財講座

- ・会 場 清洲市民センター 3階 302 視聴覚室
- ・受講者数 延べ 138 名

回	月/日	受講者	内容	講師 (敬称略)
1	6/22 (木)	40	尾張藩士朝日文左衛門 ～『鸚鵡籠中記』の世界～	NPO 法人東海学センター 理事 大下 武
2	7/27 (木)	32	名古屋近郊の戦争遺跡を探る	名古屋市教育委員会生涯学習課 学芸員 伊藤 厚史
3	8/24 (木)	34	信長の生誕地と津島まつり	愛西市教育委員会 学芸員 石田 泰弘
4	9/28 (木)	32	朝日遺跡出土の木製品とその意義について	愛知県埋蔵文化財センター 調査研究専門員 樋上 昇

② 文化財講演会

- ・講演名 「清須会議と織田家の内乱」
- ・講師 播磨 良紀 氏 (中京大学教授)
- ・期 日 平成30年2月24日 (土)
- ・会 場 清洲市民センター 2階 集会室
- ・参加者数 67名
- ・内 容 従来、清須会議については、柴田勝家と羽柴秀吉の対立でとらえられるが、近年の研究でその評価は変わってきている。清須会議を中心に本能寺の変以降の政治的動向を考える。

(3) 清須学推進事業

「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成28年2月策定)にのっとり、「清須とは何か」について、地域の歴史や文化を体系的に理解することを通じて、シビックプライドの醸成を図るとともに、その牽引役として、観光や教育等の分野で、幅広く地域で活躍できる人材を育成する。

① 清須学推進会議

清須学推進会議開催要領 (平成29年4月1日施行) に基づいて設置。

- ・委員構成 愛知県、産業界、金融機関、関係団体等
- ・会 議 年2回開催
平成29年11月28日 (火)・平成30年2月14日 (水)
- ・開催時期 年度末に清須マイスター認定のために開催するほか、適宜開催。
- ・概 要 平成30年清須学推進事業の検討、清須マイスターの認定。

② 清須学講座

- ・会場 清洲市民センター3階302視聴覚室
- ・受講者数 延べ245名

回	月/日	受講者数	内容	講師（敬称略）
1	6/10 (土)	34	朝日遺跡	県生涯学習課文化財保護室 学芸員 原田 幹
2	6/24 (土)	32	災害時の避難のあり方 ～誰もが自ら適切に避難するために～	清須市役所防災行政課職員
3	7/8 (土)	32	清須城	県埋蔵文化財センター 主任専門員 鈴木正貴
4	7/22 (土)	30	宮重大根とは	宮重大根純種子保存会 会長 河合 幹雄
5	8/26 (土)	29	清須市の産業 ～ビール産業から見た清須市の特長～	キリンビール名古屋工場 総務・広報 山本 武司
6	9/9 (土)	29	青物問屋と西枇杷島まつり	清須市ガイドボランティア 理事 毛利孝一
7	9/16 (土)	26	庄内川に生息するアユの現状について	NPO土岐川・庄内川サポートセンター あいの 間野 静雄
8	10/28 (土)	33	フィールドワーク	清須市ガイドボランティア

* 6講座以上（8割）の出席者に清須学講座修了証を交付。

③ 清須検定

- ・期 日 12月9日（土）午後1時30分～
- ・出願要件 平成28・29年度の講座修了者（マイスター認定者は不可）
- ・結 果 出願者10名、受験者9名、合格者2名（合格基準点：80点）
清須検定合格者は清須マイスターに認定候補者となる（推進会議で認定）

④ 清須マイスター

清須マイスターは、清須の地域資源等に豊富な知見を有し、シビックプライドの醸成に係る牽引役として活動される方への名誉称号。

- ・認定方法 清須学推進委員の推薦による実績認定（3年以上継続的にシビックプライドの醸成に資する活動へ参加）と清須学講座終了者を対象等とした清須検定の合格者。清須学推進会議で認定。
- ・認定者 2名（清須検定合格者）平成29年度は委員の推薦なし。

*清須マイスター認定者には、認定バッチと認定証を交付。

- (4) 文化財関係刊行物の販売
生涯学習課で刊行物の販売を行なっている。

【文化財関係刊行物一覧】(資料3)

- (5) 歴史文化振興事業
平成19年度に新川町史編さん事業終了後、清須市で所蔵する資料の調査・整理作業を継続して行っている他、歴史資料展示室の企画・運営等を行っている。

5. 施設管理・運営

各方面からの寄贈により収集された貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

◎ 西枇杷島問屋記念館

- ・名称 清須市西枇杷島問屋記念館
- ・所在地 清須市西枇杷島町西六軒20
- ・面積 敷地面積 1,391.55㎡ 延床面積 151.62㎡
主屋 98.82㎡ 離れ 52.80㎡
- ・構造 木造2階建
- ・開館 平成5年4月
- ・概要 「下小田井の市」の創始者の一人といわれる九左衛門家の住居を、平成4(1992)年に、移築復元したもの。明治初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家のなかでも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物。
- ・開館日数 304日(61日休館)
- ・入場者数 2,555名(2月末日現在)

6. 指定文化財補助

市指定文化財(個人等管理)に対し、修理・管理・公開について補助を行った。

- (1) 修理費補助 有形民俗文化財(山車) 4件
- (2) 管理費補助 ① 有形文化財 7件
② 有形民俗文化財(山車) 6件 計13件
- (3) 公開費補助 有形民俗文化財(山車) 5件
(尾張西枇杷島まつり5件)

(4) 文化財関連団体

○ 西枇杷島町山車保存会

- ・目的 西枇杷島に所在する山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行を図る。
- ・役員 会長 箕浦信夫 副会長・会計他

- ・会 員 等 橋詰町、問屋町、東六軒町、西六軒町、杣西町の町内会会員
- ・主 事 業 尾張西枇杷島まつりにおける山車運行他